

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	帯広畜産大学
設置者名	国立大学法人北海道国立大学機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
畜産学部	共同獣医学課程	夜・通信		20	19	39	19	
	畜産科学課程	夜・通信			40	60	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.obihiro.ac.jp/navi-sch-agrc-anim-sci

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	帯広畜産大学
設置者名	国立大学法人北海道国立大学機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて掲載 (<https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/about/officer.php>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	慶應義塾大学学事顧問	令 4.4.1～ 令 8.3.31	業務全般の総理
非常勤	株式会社アイネス 執行 役員兼アライアンス推 進本部長	令 6.4.1～ 令 8.3.31	経営戦略、広報戦 略、情報化戦略他
常勤	国立大学法人北海道大 学名誉教授	令 7.6.1～ 令 8.3.31	産学官金連携他
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	帯広畜産大学
設置者名	国立大学法人北海道国立大学機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全ての授業科目について統一した様式のシラバスを作成し、HPで公表している。 ・シラバスには少なくとも、担当教員名、単位数、授業形態(講義、演習、実習、実験の別)、授業概要、到達目標、授業計画(授業回数と各授業回ごとの内容を含む)、準備学修(予習・復習)の内容と分量、成績評価の方法と基準を記載している。 ・シラバスは、毎年度見直しを行っている。2月に科目責任者にシラバスの見直しと更新を依頼し、3月には翌4月から適用となるシラバスをHPで公表する。 ・履修要覧を毎年度始めに、新入生と教員全員に配付している。	
授業計画書の公表方法	https://gkm02.obihiro.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・アセスメント・ポリシーにより、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・資質の修得状況、カリキュラム・ポリシーに則した学修状況についての評価方法を定めている。アセスメント・ポリシーの掲載URL：https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug#asp ・各科目における成績評価の方法と基準については、全ての科目においてシラバスに明記し公表することで、学生に示されている。 ・成績評価の基準をより明確に、分かりやすく学生に示すため、ルーブリックの活用を推進している。 ・授業への出席については、成績評価には含まれないが、原則として7割以上出席していなければ成績審査を受けられない旨を学則第39条で定めており、学習意欲についての最低基準を設けている。 ・成績評価に対する学生からの質問や異議申立てについて制度化し、不適切な評価を正すのみならず、あらかじめ公表している方法により適正に評価が行われるために機能している。なお、異議申立て制度については、以下のURLで公表している。 URL：https://www.obihiro.ac.jp/gpa	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・本学では平成24年度入学者からGPA制度を導入し、成績表等に記載している。 ・成績別のGPとGPAの算出方法については、毎年度始めに新入生および教員全員に配付する「履修要覧」に掲載するとともに、HPにも制度の概要、算出方法を掲載し、公表している。 ・GPAは、成績確定後、規定のGPと算出方法により教務システムで自動計算され成績表およびポータルサイト上に反映される。 ・学生は、ポータルサイト上で自分の通算GPA、学期GPAをリアルタイム(学期末の成績確定後の数値)で確認することができる。また、GPAの分布状況のグラフを表示することが可能で、自分の成績を視覚的に確認できる。 ・ポータルサイトの機能により、担当職員および指導教員は、GPAの分布と当該学生の成績を常に把握することが可能である。 ・GPAの種類と算出方法 学期GPA(当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA) $\frac{(\text{その学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$ ・通算GPA(在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのGPA) $\frac{((\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.obihiro.ac.jp/gpa
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)を明確に定め、「履修要覧」に掲載するとともにHPにも掲載し、公表している。 ・アセスメント・ポリシーにより評価方法を定め、卒業審査において学修到達ルーブリックを活用して、ディプロマ・ポリシーの達成度を確認している。 【ディプロマ・ポリシー】 1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く、課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。 2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。 3. 獣医農畜産の専門教育コースである「ユニット」の専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	帯広畜産大学
設置者名	国立大学法人北海道国立大学機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.obihiro.ac.jp/corporation-info-finance
収支計算書又は損益計算書	https://www.obihiro.ac.jp/corporation-info-finance
財産目録	該当なし
事業報告書	https://www.obihiro.ac.jp/corporation-info-finance
監事による監査報告(書)	https://www.obihiro.ac.jp/corporation-info-audit

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 第4期中期目標・中期計画)	対象年度: 令和4年度～令和9年度)
公表方法:	https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/about/plan.php

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:	https://www.obihiro.ac.jp/self-monitoring
-------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:	https://www.obihiro.ac.jp/ce-and-a
-------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 畜産学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/basic-policy)
(概要) 「日本の食料基地」として食料の生産から消費まで一貫した環境が揃う北海道十勝地域において、生命、食料、環境をテーマに「農学」「畜産科学」「獣医学」に関する教育研究を推進し、知の創造と実践によって実学の学風を発展させ、「食を支え、暮らしを守る人材」の育成を通じて地域及び国際社会に貢献する」こと。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug#dp)
(概要) 1. 獣医・農畜産融合の視点から、食料の生産から消費に至る過程についての関心が高く、課題解決に向けて取り組む態度を身につけている。 2. 国際化社会で必要となる見識と基礎的コミュニケーション能力を身につけている。 3. 獣医農畜産の専門教育コースである「ユニット」の専門知識、技術及び課題解決に向けた基本的能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug#cp)
(概要) 帯広畜産大学学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、農畜産学及び獣医学とこれらに関連する諸学術分野について、以下の方針に沿って教育課程を編成します。 1. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域に関する幅広い視野と専門性を養います。 2. 食料生産及び食の安全に関わる授業科目を広く修得することで、「農場から食卓まで」の幅広い視野を養います。 3. 低学年では教養と語学力を向上させるための科目及び専門領域への導入的科目を、高学年では専門領域の科目を配置することで、修学の積み重ねを重視したアドバンス制教育を行い、着実な基礎に根ざした専門性を養います。 4. 専門教育コースであるユニットでは、より専門性を高めるための科目を配置するとともに、他ユニットの科目も適宜選択可能なシステムを設けることで、専門性を広げる教育を行い、生命、食料、環境に関する幅広い知識を養います。 5. 高学年で分属する研究室では、卒業研究や卒業研究ゼミナールを通して専門知識と技術の修得とともに、総合的思考力・応用力を養います。 6. 学生のキャリアを育てるための科目を配置し、見通しを持って主体的に卒業後の進路を切り開く力を養います。 7. 国際教育関連の科目群を配置し、国際社会での活動に対応できる能力を養います。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug#ap)
(概要) 1. 「農場から食卓まで」の幅広い考え方で現場に適応できる知識と能力を身につけたい人 2. 北海道十勝地域の豊かな自然と風土のもとで、食と農の大切さ、動植物の命の尊さを学びたい人 3. 食や環境等に関する地球規模の社会問題を解決する能力を身につけたい人 4. 農畜産学及び獣医学とそれらを支える様々な関連学術領域について学ぶために必要な基礎学力を身につけている人 5. 自分の意見を持ちつつも、他の多様な意見や価値観を尊重して協力することができる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.obihiro.ac.jp/navi-sch-agrc-anim-sci>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3 人	－					3 人
畜産学部	－	39 人	38 人	1 人	12 人	0 人	90 人
その他	－	12 人	23 人	0 人	3 人	0 人	38 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		29 人					29 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://www.obihiro.ac.jp/faculty					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
昨年度実績としては、3 回の FD 研修会「特性のある学生の就職支援を考える」・「大学での支援の実践と考え方」・「大学における内部質保証システムのアップデート：学生参画と学習成果への視点」を実施した。3 回の研修会全体で全教員に対する出席率は 60.0％であった。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
共同獣医学課程	40 人	40 人	100%	240 人	247 人	103%	0 人	0 人
畜産科学課程	210 人	214 人	102%	860 人	913 人	106%	10 人	8 人
合計	250 人	254 人	102%	1,100 人	1,160 人	105%	10 人	8 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
畜産学部	227 人 (100%)	51 人 (22.5%)	165 人 (72.7%)	11 人 (4.8%)
合計	227 人 (100%)	51 人 (22.5%)	165 人 (72.7%)	11 人 (4.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：帯広畜産大学 就職先：農林水産省、NOSAI 北海道、日本中央競馬会、北海道、ホクレン農業協同組合連合会、雪印メグミルク株式会社 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
共同獣医学課程	41 人 (100%)	37 人 (90.2%)	3 人 (7.3%)	1 人 (5.9%)	0 人 (0%)
畜産科学課程	210 人 (100%)	167 人 (79.5%)	34 人 (16.2%)	8 人 (3.8%)	1 人 (0.5%)
合計	251 人 (100%)	204 人 (81.3%)	37 人 (14.7%)	9 人 (3.6%)	1 人 (0.4%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
・全ての授業科目について統一した様式のシラバスを作成し、HPで公表している。 ・シラバスには少なくとも、担当教員名、単位数、授業形態（講義、演習、実習、実験の別）、授業概要、到達目標、授業計画（授業回数と各授業回ごとの内容を含む）、準備学修（予習・復習）の内容と分量、成績評価の方法と基準を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

- ・アセスメント・ポリシーにより、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力・資質の修得状況、カリキュラム・ポリシーに則した学修状況についての評価方法を定めている。卒業審査においては学修到達ルーブリックを活用し、ディプロマ・ポリシーの達成度を確認している。

アセスメント・ポリシーの掲載 URL : <https://www.obihiro.ac.jp/3policy-ug#asp>

- ・各科目における成績評価の方法と基準については、全ての科目においてシラバスに明記し公表することで、学生に示されている。
- ・成績評価の基準をより明確に、分かりやすく学生に示すため、ルーブリックの活用を推進している。
- ・授業への出席については、成績評価には含まれないが、原則として7割以上出席していなければ成績審査を受けられない旨を学則第 39 条で定めており、学習意欲についての最低基準を設けている。
- ・成績評価に対する学生からの質問や異議申立てについて制度化し、不適切な評価を正すのみならず、あらかじめ公表している方法により適性に評価が行われるために機能している。なお、異議申立て制度については、以下の URL で公表している。

URL : <https://www.obihiro.ac.jp/gpa>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
畜産学部	共同獣医学課程	195 単位	有・無	46 単位
	畜産科学課程	124 単位	有・無	46 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/gpa		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/navi-factbook		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : https://www.obihiro.ac.jp/edu-info
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
畜産学部	共同獣医学課程	535,800 円	282,000 円	円	
	畜産科学課程	535,800 円	282,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・苦手な基礎科目について、学生チューターからのサポートやアドバイスを得る「ピア・サポートシステム」を構築している。 ・多様な学生を受け入れるため、農業高校生向けの学校推薦型選抜（A 推薦）により入学した学生に対し、生物、化学、物理、数学を希望に応じて学ぶことができる「入門科目」を開講している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・各課程及び各ユニットに就職支援室員（教員）と学生支援課職員で構成する就職支援室を設置し、進学・就学等に関する相談窓口及び全学的な進路支援活動を行っている。 ・進路選択支援として、畜産科学課程 1 年生対象のキャリア教育や全学年対象の進路選択ガイダンスを就職情報会社と連携して展開している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・履修・勉学方法等修学上の問題、進学・就職等進路上の問題、家庭や友人関係等、さまざまな問題を抱えている学生に対し、カウンセラーがいつでも相談に応じ、その解決のために適切な助言・援助を行うことを目的とした学生相談室を設置している。 ・修学及び研究を行う上で困難を抱えている学生に対して、その学生が抱える問題や障害に応じて、学生一人ひとりのニーズに合わせた特別修学支援サポートを授業担当の教員や各部署と連携して行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.obihiro.ac.jp/edu-affairs-org

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F101110100056
学校名 (〇〇大学 等)	帯広畜産大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	国立大学法人北海道国立大学機構

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		95人（ 0 ）人	99人（ 0 ）人	－（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	47人	51人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	24人	26人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	－	－	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－（ 0 ）人
合計（年間）				106人（ 0 ）人
(備考) ※数値はR6授業料等減免費交付金に係る実績報告による。				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	—	人	人
計	22人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。